平成24年度 資金管理料金特別会計 収支計算書(案)の説明書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。なお、金額がマイナスの場合は'ム'で表示している。 ◎予算額は、科目間の流用後の金額を記載している。

*1を付した年度予算について:会計規程の規定に基づき、予備費を使用した。()内は、「当初予算額」及び「決算額と当初予算額との差異」を記載している。

(単位: 百万円)

*1を付した年度予算について:会計規程の規定に基づき	、予備費を使)内は、「当 4年度	4初予算額_	1	「額と当初予		異」を記載している。				(単位: 百万										
科 目	>+ M* ()	予算額との・予算			予算額との・予算			予算額との・予算		予算額との予算		予算額との予算		算額との 予算		決算(c) (a)-(c) (a)/(c)		予算との比較		平成23年度実統	責との比較	
	決算(a)	予算(b)	差異 (a)-(b)	進捗率 (a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)															
事業活動収支の部																						
1. 事業活動収入																						
① 事業収入 資金管理料金収入	2,050	1,916	134	107%	1,889	161	109%	〇 預託台数が予算想定を上回ったため、資金管理料金収入は予算を上回った。(資料3-4を参照)	〇 預託台数が平成23年度実績を	上回ったため、資金管理	料金収入は平成23年度	実績を上回った。										
								<預託台数>	<預託台数>													
								決算(a) 予算(b) 差異(a)-(b)	法	算(a) 平成23	年度(b) 差異(a)-(b)										
								預託別(単価/台) 台数 金額 ^{予算} 台数 金額 台数 金額	預託別(単価/台) 台数	金額 台数	金額 台数	金額										
								新車購入時(380円) 522 万台 1,984 百万円 108% 483 万台 1,835 百万円 39 万台 149 百万円 引取時(後付預託を含む)(480円) 14 万台 66 百万円 82% 17 万台 81 百万円 △3 万台 △15 百万円	新車購入時(380円) 522 万台 引取時(後付預託を含む)(480円) 14 万台		1,810 百万円 46 万台 79 百万円 △ 3 万台	174 百万円 △ 13 百万円										
								合計 536 万台 2,050 百万円 107% 500 万台 1,916 百万円 36 万台 134 百万円	合計 536 万台		1,889 百万円 43 万台	161 百万円										
輸出取戻し手数料収入	499	429	70	116%	417	82	120%	○ 輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し手数料収入は予算を上回った。(資料3-4を参照)	〇 輸出返還台数が平成23年度実	績を上回ったため、輸出	取戻し手数料収入は平	成23年度実績を上回った										
								<申請区分別輸出返還台数>	<申請区分別輸出返還台数>		<u> </u>	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \										
								決算(a) 予算(b) 差異(a)-(b) 申請区分 台数 金額 台数 金額	申請区分	:算(a) 平成23 金額 台数	年度(b) 差異(a 金額 台数	()-(b) 金額										
								PC申請 110 万台 485 百万円 117% 94 万台 414 百万円 16 万台 71 百万円	PC申請 110 万台		401 百万円 19 万台	84 百万円										
								一般申請 2万合 14百万円 90% 2万合 16百万円 △0万合 △2百万円 合計 112万合 499百万円 116% 96万合 429百万円 16万合 70百万円	一般申請 2 万台 合 計 112 万台		16 百万円 △ 0 万台 417 百万円 19 万台	△ 2 百万円 82 百万円										
								1 III 112.00 400 E331, 1103 00 00 1 420 E331, 10 00 E331,	П П П П П П П П П П П П П П П П П П П	400 1317 00 331	417 11317 10 251	02 11311										
事業収入計 ② 補助金等収入	2,549	2,345	203	109%	2,306	243	111%															
承認済特定再資源化預託金等収入	744	920	△ 176	81%	655	90	114%	○ 情報システム改善に係る性能対策に要する費用に充てられた金額については、実施内容の精査等により下期確定額が概算予算を下回ったため、予算を下回った。また東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用に充てられた金額については、預託台数が平成23年度2月・3月発生分では予算想定台数3,800台に対し、実績3,051台、平成24年度4月~1月発生分では予算想定台数14,000台に対し、実績2,143台とともに予算想定台数を下回ったため、予算を下回った。 <承認済特定再資源化預託金等収入の内訳>	○ 情報システム改善に係る収入にまた番号不明被災自動車の処理に係る収入は平成23年度実施 <承認済特定再資源化預託金	理に係る事務委託費用を 績を下回った。		番号不明被災自動車のク										
								決算(a) 予算(b) 差異(a)-(b) 科目 金額 予算 進捗率 金額 金額	科目	決算(a)	平成23年度(b)	差異(a)-(b)										
								並修率 並修 並	情報システム改善に係る収入	682 百万円	559 百万円	123 百万円										
								上期分 504 百万円 100% 504 百万円 - 百万円 下期分 178 百万円 79% 226 百万円 Δ 48 百万円	番号不明被災自動車の処理に係る収. 合計	入 63 百万円 744 百万円	96 百万円 655 百万円	△ 33 百万円 90 百万円										
								番号不明被災自動車の処理に係る収入 63 百万円 33% 190 百万円 △ 127 百万円 平成23年度2・3月対応分 35 百万円 80% 44 百万円 △ 9 百万円 平成24年度4~1月対応分 28 百万円 19% 147 百万円 △ 119 百万円 合計 744 百万円 81% 920 百万円 △ 176 百万円	Dail	744 6271	033 E2/11	90 B3/11										
③ 負担金収入 自動車製造業者及び日本自動車 輸入組合からの負担金収入	1,233	1,353	Δ 120	91%	1,166	66	106%	○ 自動車製造業者及び日本自動車輸入組合が負担する支出が予算想定を下回ったため、これと連動して負担金収入も予算を下回った。	○ 自動車製造業者及び日本自動 営委託費支出及び管理費支出 23年度実績を上回った。													
								<負担金収入の内訳>	<負担金収入の内訳>	1												
								科目	科目	決算(a)	平成23年度(b)	差異(a)-(b)										
								а システム関連費支出 347 百万円 90% 385 百万円 Δ 38 百万円	a システム関連費支出	347 百万円	330 百万円	17 百万円										
								b サポート業務運営委託費支出 637 百万円 93% 683 百万円 △ 46 百万円 c その他の事業費支出 145 百万円 88% 169 百万円 △ 24 百万円	b サポート業務運営委託費支出 c その他の事業費支出	637 百万円 145 百万円	600 百万円 155 百万円	37 百万円 △ 10 百万円										
								d 管理費支出等 103 百万円 89% 116 百万円 △ 13 百万円 合計 1,233 百万円 91% 1,353 百万円 △ 120 百万円	d 管理費支出等 合計	103 百万円 1,233 百万円	81 百万円 1,166 百万円	22 百万円 66 百万円										
④ 雑収入 有価証券運用収入	3	3	Δ 0	90%	1	1	1010	○ 余裕資金の国債運用による利息収入である。平成24年4月13日に額面27億8千万円の債券を購入した。債	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	,												
行圆皿分层用权人	3	3	<u> </u>	90%	'	'	10170	○ 宗裕員並の国債運用による利息収入である。十成24年4月13日に額回27億6千万日の債券を購入した。債券の利回りが予算想定時0.12%に対し、実績0.105%と下回ったため、予算を下回った。	本大震災の影響で短縮されたこ			╗╗╗╜ [╌] ┼Ж८७┿⋛は果										
還付消費税収入	39	50	Δ 11	78%	40	△ 2	96%	○ 主として、新車購入時預託台数及び輸出返還台数の増加により、事業収入が予算想定を上回ったため、課税売上高が増加した。一方、情報システム改善に係る費用が予算想定を下回ったため、課税仕入高が減少した。以上のことから、還付消費税収入は予算を下回った。														
雑収入計	42	53	Δ 11	78%	42	Δ0	99%															
事業活動収入計	4,567	4,672	Δ 104	98%	4,169	399	110%															
	1 ,	1	1	<u> </u>	1	1			1													

366

925

1,434

4,109

92%

210

105%

Δ0

230

98%

(110%)

89%

95%

輸出取戻し事業費支出

システム関連費支出

サポート業務運営委託費支出

理解普及活動費支出

事業費支出計

400

925

1,663 1,759

4,319 4,681 △ **362**

409

(364)

1,036

 \triangle 9

(36)

△ 111

△ 95

*1を付した年度予算について:会計規程の規定に基						平成23年度	平成23年度 決算対前年度差異			
科	目	決算(a)	予算(b)	予算額との 差異 (a)-(b)	予算 進捗率 (a)/(b)	決算(c)	(a)-(c)	(a)/(c)	予算との比較	平成23年度実績との比較
事業活動支出										
① 事業費支出										
新車購入時預託関連	重費支出	930	*1 934 (864)		100% (108%)	857	73	109%	○ 主として、新車購入時預託台数が予算想定を上回ったため、新車購入時預託関連費支出は当初予算(864百万円)を上回った。当初予算を上回った分については、予備費支出より70百万円を充当した。	〇 主として、新車購入時預託台数が増加したため、新車購入時預託関連費支出は平成23年度実績を上回った。
引取時預託関連費支	支出	94	213	Δ 120	44%	198	△ 104	47%	○ 引取時預託台数が予算想定を下回ったため、定常支出項目は予算を下回った。 また、非常常支出項目である東日本大震災による来号不明被災白動東処理费用については、預託台数が	〇 引取時預託台数が減少したため、定常支出項目は平成23年度実績を下回った。 非空党支出項目である東口本土雲災による来只不明被災白動東加理费用については、預託台数字結が

また、非定常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用については、預託台数が 実績3,089台と予算想定台数14,000台を下回ったため、予算を下回った。 以上のことから、引取時預託関連費支出は予算を下回った。

<引取時預託関連費支出の内訳>

(月本村)県間(大)定員人間(7)日(1)	· 決算(a)		予算(b)	差異(a)-(b)	
科目	金額	予算 進捗率	金額	金額	
定常支出項目	57 百万円	85%	67 百万円	△ 10 百万円	
非定常支出項目(番号不明被災自動車処理費用)	37 百万円	25%	147 百万円	△ 109 百万円	
再資源化預託金等預託費用	31 百万円	22%	141 百万円	△ 109 百万円	
被災関連事務委託費等	6 百万円	100%	6 百万円	- 百万円	
合計	94 百万円	44%	213 百万円	△ 120 百万円	

109% O 主として、輸出返還台数が予算想定を上回ったため、輸出取戻し事業費支出は当初予算(364百万円)を上回った。当初予算を上回った分については、予備費支出より45百万円を充当した。

100% ○ 定常支出項目については、リサイクルシステムの維持・運営・改修に係る業務効率化の取組みにより、予算 を下回った。

また、非定常支出項目である情報システム改善に係る支出については、実施内容の精査等により下期確定 額が概算予算を下回ったため、予算を下回った。

く ノス / ム民建食文山の内訳 /										
	決算(a)		予算(b)	差異(a)-(b)						
科目	金額	予算 進捗率	金額	金額						
定常支出項目	563 百万円	89%	630 百万円	△ 67 百万円						
非定常支出項目(情報システム改善)	362 百万円	89%	406 百万円	△ 44 百万円						
上期分	37 百万円	100%	37 百万円	- 百万円						
下期分	325 百万円	88%	369 百万円	△ 44 百万円						
合計	925 百万円	89%	1,036 百万円	△ 111 百万円						

116% 〇 データセンター運営費支出のうち定常支出項目は概ね予算想定どおりであった。 一方、非定常支出項目である情報システム改善に係る支出については、実施内容の精査等により下期確定額が概算予算を下回ったため、予算を下回った。 また、コンタクトセンター運営費支出は、コンタクトセンターの処理件数が予算想定を下回ったため、予算を

下回った。 <サポート業務運営委託費支出の内訳>

	決算(a)		予算(b)	差異(a)-(b)
科目	金額	予算 進捗率	金額	金額
データセンター運営費支出	1,566 百万円	95%	1,643 百万円	△ 77 百万円
定常支出項目	955 百万円	98%	975 百万円	△ 20 百万円
非定常支出項目(情報システム改善)	611 百万円	91%	668 百万円	△ 57 百万円
上期分	116 百万円	100%	116 百万円	- 百万円
下期分	495 百万円	90%	552 百万円	△ 57 百万円
コンタクトセンター運営費支出	97 百万円	84%	116 百万円	△ 19 百万円
合計	1,663 百万円	95%	1,759 百万円	△ 95 百万円

107% 〇 平成24年度は下表のとおりの活動を行った。

<理解普及活動費支出の内訳>

	決算
	金額
ユーザー向け理解普及活動費支出	19 百万円
チラシ・ポスター等の作成・配布	2 百万円
ホームページ	2 百万円
エコプロダクツ出展	6 百万円
自動車教習所での活動(※)	8 百万円
認知度調査	1 百万円
スターターキット関連費用支出	1 百万円
合計	20 百万円
※動画放映 白動車教習所教木への広告掲	載 教習所交業生

※動画放映、自動車教習所教本への広告掲載、教習所卒業生向け冊子への広告掲載を実施

資金運用管理費支出 100% ○ 主として、債券市場調査委託費用2百万円を見込んでいたが、当該費用の発生がなかったため、予算を下 \triangle 2 56% 回った。 その他の事業費支出 303 309 △ 19 △ 24

92% 〇 主として、時間外勤務の削減等により、予算を下回った。

非定常支出項目である東日本大震災による番号不明被災自動車処理費用については、預託台数実績が 3,089台と平成23年度実績台数8,205台を下回ったため、平成23年度実績を下回った。

<引取時預託関連費支出の内訳>

科目	決算(a)	平成23年度(b)	差異(a)-(b)
定常支出項目	57 百万円	67 百万円	△ 10 百万円
非定常支出項目(番号不明被災自動車処理費用)	37 百万円	131 百万円	△ 94 百万円
再資源化預託金等預託費用	31 百万円	91 百万円	△ 60 百万円
被災関連事務委託費等	6 百万円	39 百万円	△ 34 百万円
合計	94 百万円	198 百万円	△ 104 百万円

- 〇 主として、輸出返還台数が増加したため、輸出取戻し事業費支出は平成23年度実績を上回った。
- 定常支出項目及び非定常支出項目については、概ね平成23年度実績並みであった。

<システム関連費支出の内訳>

科目	決 算(a)	平成23年度(b)	差異(a)-(b)
定常支出項目	563 百万円	569 百万円	△ 6 百万円
非定常支出項目(情報システム改善)	362 百万円	357 百万円	5 百万円
合計	925 百万円	925 百万円	△ 0 百万円

- データセンター運営費支出のうち、定常支出項目は概ね平成23年度実績並みであった。 一方、非定常支出項目である情報システム改善に係る支出については、計画に沿った作業を行った結果、 平成23年度実績を上回った。
- コンタクトセンター運営費支出は、業務委託先の変更に伴う契約料金の見直し等により、平成23年度実績を 下回った。

<サポート業務運営委託費支出の内訳>

科目	決算(a)	平成23年度(b)	差異(a)-(b)
データセンター運営費支出	1,566 百万円	1,249 百万円	317 百万円
定常支出項目	955 百万円	945 百万円	10 百万円
非定常支出項目(情報システム改善)	611 百万円	304 百万円	307 百万円
コンタクトセンター運営費支出	97 百万円	184 百万円	△ 87 百万円
合計	1,663 百万円	1,434 百万円	230 百万円

○ 退職給付支出が発生しなかったため、平成23年度実績を下回った。

◎金額の表示について:百万円未満を四捨五入表示しているため、合計額は必ずしも計算値と一致しない。金額がないものは'-'、金額はあるが単位未満のものは'0'で表示している。なお、金額がマイナスの場合は'Δ'で表示している。 ◎予算額は、科目間の流用後の金額を記載している。

次期繰越収支差額

4,473

4,079

394

4,345

128

*1を付した年度予算について:会計規程の規定に基づき、予備費を使用した。()内は、「当初予算額」及び「決算額と当初予算額との差異」を記載している。 (単位: 百万円) 平成24年度 平成23年度 決算対前年度差異 予算額との 差異 (a)-(b) 予算との比較 平成23年度実績との比較 目 決算(a) 予算(b) 進捗率 決算(c) (a)-(c) (a)/(c)(a)/(b) ② 管理費支出 賃借料支出 21 100% 22 93% 21 \triangle 0 △ 2 諸謝金支出 18 100% 22 △ 4 81% 18 Δ 0 財団運営費支出 57 173% ○ 賛助会費ゼロ化に伴い、本財団運営に係る費用の資金管理法人を含む各法人等の負担分が平成23年度 55 32 23 \triangle 2 96% 実績の65%から100%に増加したことから、平成23年度実績を上回った。 その他の管理費支出 14 19 \triangle 5 74% 14 103% 管理費支出計 107 ○ 管理費支出の中科目間において、租税公課支出から、通信運搬費支出に200千円及び諸謝金支出に250 114 Δ7 千円の合計450千円を流用した。 事業活動支出計 4,795 4,199 227 105% 4,426 △ 369 92% 事業活動収支差額 141 △ 124 265 △ 30 171 Ⅱ 投資活動収支の部 1. 投資活動収入 ① 特定資産取崩収入 10 △ 10 投資活動収入計 10 △ 10 2. 投資活動支出 ① 特定資産取得支出 \triangle 0 100% ② 固定資産取得支出 92% Δ 0 12 13 96% 204% 投資活動支出計 \triangle 0 △ 16 投資活動収支差額 △ 12 △ 13 0 3 Ⅲ 財務活動収支の部 1. 財務活動収入 財務活動収入計 2. 財務活動支出 45% 101% ① リース債務返済支出 Δ1 財務活動支出計 1 2 Δ1 45% 0 101% Δ1 財務活動収支差額 Δ1 Δ0 \triangle 2 Ⅳ 予備費支出 200 △ 85 〇 新車購入時預託関連費支出及び輸出取戻し事業費支出が当初予算を上回ったため、115百万円を充当使 用した。 △ 115 当期収支差額 128 △ 223 351 △ 27 156 〇 非定常分は番号不明被災自動車に係る支出と収入の期ずれが発生したため、26百万円の黒字となった。 〇 非定常分は番号不明被災自動車に係る支出と収入の期ずれが発生したため、平成23年度実績を61百万円 一方、定常分は新車購入時預託台数が予算想定を36万台上回ったこと、及び輸出返還台数が予算想定を 上回った。 16万台上回ったことにより103百万の黒字となった 定常分は新車購入時預託台数が46万台、輸出返還台数が19万台とそれぞれ平成23年度実績を上回ったこ 以上のことから、当期収支差額は128百万円の黒字となった。 と、及びコンタクトセンターの業務委託先変更に伴い運営コストが削減されたことにより、平成23年度実績を 95百万円上回った。 <当期収支差額の内訳> 備考 収支差額 項目 <非定常分> 情報システム改善 平成23年度(b) <非定常分> 決算(a) 収入 支出 収支差額 差異(a)-(b) 情報システム改善 682 百万円 682 百万円 - 百万円 - 百万 - 百万F - 百万円 - 百万円 35 百万円 平成23年度に支出発生済み 37 百万円 △ 9 百万円 差額分は平成25年度特預金申請予定 番号不明被災自動車(平成23年度2・3月分) 番号不明被災自動車 26 百万日 △ 35 百万円 61 百万円 35 百万円 番号不明被災自動車(平成24年度分) 28 百万円 小計 26 百万 △ 35 百万円 61 百万円 小計 744 百万円 719 百万円 26 百万円 <定常分> 103 百万日 8 百万円 95 百万円 3,823 百万円 3,720 百万円 103 百万円 128 百万円 △ 27 百万円 156 百万円 4,567 百万円 4,439 百万円 128 百万円 前期繰越収支差額 4,345 4,302 43 4,372 △ 27